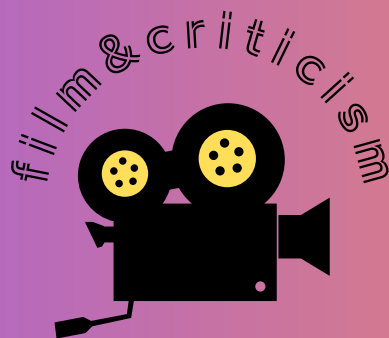




日本現代 批評史 研究会

立命館大学大学院先端総合学術研究科
2025年度 院生プロジェクトスタートアップ報告会

メンバー 今井 友哉 : ウィトゲンシュタイン研究
高畑 和輝 : 音色研究
立川 宗一郎 : モーリス・ブランショ研究
徳永 怜 : ミシェル・フーコー研究
間宮 琴子 : 乙女ゲーム研究
水口 陽太 : メルロ・ポンティ研究

連絡先 今井 友哉 (gr0696xf@ed.ritsumeai.ac.jp)



概要

本研究会は、日本現代批評史における重要文献の講読を通して、日本現代批評の歴史意識や現代の批評状況を捉えることにより、批評的な問題意識を醸成することを目的とする。また、学術と批評の横断可能性を意識づけ、多角的な視点を身につけることで、学術／批評をまたぐ「知」のあり方を模索する。

内容

学術／批評にまたがる「知」に接近するために、日本現代批評に関心をもつ院生とともに文献講読を行う。前年度の講読文献であった福尾匠『非美学——ジル・ドゥルーズの言葉と物』（河出書房新社、2024年）における問題意識を引き継ぎつつ、講読する文献は平倉圭『ゴダールの方法』（インスクリプト、2010年）とする。文献講読と併せて、7月4日（金）～8月31日（日）の期間開催されるジャン＝リュック・ゴダール《感情、表徴、情念 ゴダールの『イメージの本』について》展を鑑賞する。そうすることで、「ゴダールの方法」を経験的に把握することを目指す。

MORE
DETAILS



R RITSUMEIKAN